

【質問・感想】

翻訳を始めて1年半になりますが、まだまだ直訳から離れることが難しいと感じています。英語として自然な表現の習得、また、語間を正確に理解する力を身に付けたいと思い受講しました。

“the”を訳すべき部分、省略してよい部分の判断に迷いました。判断基準となるポイントなどはありますか？

コメントの追加 [FA1]: 定冠詞は、「その名詞の指示対象を読み手が唯一的に同定できると書き手が考えていることを示す目印」です。訳出しなくともそうした書き手の意識が伝わる場合にはあえて訳す必要はありません。しかし「こうした」「そうした」のように訳出しないと、書き手の意識が伝わらないケースもあります。<解説・訳例> を参照してください。

【先生からのアドバイス】

こんにちは。意欲あふれるコメントを嬉しく拝読しました。しっかりした力をおもちで、丁寧に取り組まれたことが訳文からも伝わってきました。

少しでもいい訳文をめざしていただきたいという思いから、かなり細かい点まで指摘させていただきますので、ぜひたくさんのこととを吸収していってください。応援しています。

A-2; 語順：この文には to control～と to provide…の2つの機能があります。前者は下位機能、後者は上位機能で両者は時間的に前後関係にありますので「～を制御して…を行う」と訳します。主語が「装置」という機械ですから control は「制御」が適訳でしょう。

「この装置には～の能力がある（～する機能がある）」が最適ですが、「この装置を使うと～できる」と訳してもかまいません。

A-3; "subsidiaries were perceived as ~" 「子会社は～として認識された」が文章の骨組みです。"were more and more perceived"の部分は「傾向」といった訳語を補い、人を主体とした表現にすると、自然な日本語になります。

B-1; include を用いた修飾句は、25 years を修飾することも、loan period を修飾することもできます。including～の他に which includes～の形で修飾することもできます。

B-2; to 不定詞を使うと「～ためにはコンピュータが必要」（コンピュータがあればよい）の意味にも解釈できてしまいます（解説も参照）。ここは主格の関係代名詞 which を使うと誤解なく明確に表現できます。

C; 第2パラグラフ：while 以降は大企業優遇の背景と考えられます。このパラグラフの主旨も第1パラグラフと同様に「政府は大企業優遇の傾向を強めた」であると考えてよいでしょう。while を「一方」とすると、それ以降が政府の動きに反した別の動きのように解釈されてしまう可能性があります。

development～companies の文：「戦後の国内市場の具体的な内容が～の登場とその発展」と考えられます。

担当：

履修度	応用力 <英和>	応用力 <和英>	完成度	総合評価
A-	B	A	B-	B+

A-1; 来年に予想される経済の回復により、エネルギー需要が増加するだろう。

コメントの追加 [FA2]: 「が実現すれば」とした方が、主題がはっきりします。

A-2; この装置には、順方向電流を操作制御して増幅→と整流するを行う機能がある。

コメントの追加 [FA3]: provide amplification and rectification : この表現でも間違いではありませんが、実際の仕事では中黒「・」の使用を好まないクライアントもいます。言い換え可能な表現があれば、そちらを採用したほうが良いでしょう。

A-3; 1980 年代は特に、子会社をは多様化の手段として考える傾向がますます強まつたさらに認識が高まつた。

B-1; The period of loan is 25 years including the a grace period of 10 years.

コメントの追加 [FA4]: a(n) + 数量概念 + of + 数字

B-2; This operation needs the a computer-to which can manipulate a huge amount of data.

C; 日本の産業構造のいわゆる民主化は、小規模な中小企業部門と直接関係していたわけではなかった。

第二次世界大戦後の日本政府は、明治政府と同様に、重工業に携わるこれらの大企業に特権的地位を与えた。

1950 年代、60 年代に入ると、政府はさらに指示を出し、より大規模な会社大企業に対する優遇(措置)を強化した。一方その背景には、戦後の国内市場の発展の中ではにおいて、大規模な消費財メーカーを扱う大企業が登場し、急速に拡大したのだったことがある。

コメントの追加 [FA5]: small-enterprise : 「中小企業」が適訳でしょう。

コメントの追加 [FA6]: 数字は「算用数字を半角表記」が一般的です。特に指定がない限り、実務翻訳では「第 1 章、第 2 章…」などと変更が可能な数字は算用数字で、「第一人者」のように変更が不可能な数字は漢数字で表記します。ただし「第 2 次世界大戦」の場合、固有名詞と判断して「第二次～」を指定される場合もないとは言えません。念のため覚えておきましょう。